

⑮2024年度 キャリア戦略

PLAN(計画)	DO(実施)	CHECK(評価)	ACTION(次への改善)
P:目標を策定、実現するための具体的な方法を考える。	D:計画を実行しその効果を測定する。	C:目標とその実践の差異、実績した行動の評価・分析を行う。	A:課題や問題点についての改善、対策を行い、次への「PLAN」へ繋げる
		評価	評価の理由/課題/取組テーマ等
<p><外国語学部> ■就職内定率率的向上 98%以上 ■実就職率改善 93%以上</p>	<p><外国語学部> [3年生] 就職活動のさらなる早期化に対応して、3年前期本格的な就活準備に入れるよう以下2点を実施する。 ①前期全員面談(継続実施) ②4月に進路調書配布 ③進路調書を基に全員面談実施(2023年度実施率81.0%) ④就職活動状況アンケート(新規実施) ⑤学生状況の把握および活動促進のための定期的なアンケート調査実施 [4年生] ①説明会・求人紹介の実施(継続実施) ②Weekly学内説明会および就職支援会社や新卒応援ハローワークによる求人紹介セミナー実施(2023年度41社実施) ③就職活動状況アンケート(新規実施) ④学生状況の把握および活動促進のための定期的なアンケート調査実施 ⑤全員を対象として実施することで、学生状況の把握や活動実施を促す</p>	<p><外国語学部> [3年生] ①前期全員面談実施状況 前期全員面談実施、実施率は89.5%(前年比+8.5%) ②就職活動状況アンケート 7月回答率 54.3%(全学部) 9月回答率 49.3%(全学部) ③就職活動状況を把握することができているため今後の支援に役立てる。 [4年生] ①Weekly学内説明会・求人紹介セミナー 学内説明会19社開催26名参加 ②就職支援会社・ハローワークガイダンス 4/13開催ジェイック 13名 6/28開催ベネッセキャリア 8名 7/25開催ハローワーク 5名 →合計26名参加 ③就職活動状況アンケート 6月回答率 41.3%(全学部) 9月回答率 26.8%(全学部) 6月回答者は9月に回答していないことも多いが、学生状況を捉えるためのツールとなっている。</p>	<p><外国語学部> 年度途中であるため最終的な評価はできないが、2025年2月28日時点で就職内定率、実就職率共に概ね前年同期と向水準で推移している。引き続き進捗がとれない学生への救済、チャット、ゼミの先生方へのご協力をお願いを通じて、学生の動きを把握し内定獲得まで個別支援を継続している。次年度もPLANとして掲げ、継続的に取り組む。</p> <p>10月1日内定率 =59.5% (昨年同時期 66.8%) 実就職率 =56.8% (昨年同時期 61.1%)</p>
<p><経営学部> ■就職内定率率的向上 98%以上 ■実就職率改善 93%以上</p>	<p><経営学部> [3年生] 就職活動のさらなる早期化に対応して、3年前期本格的な就活準備に入れるよう以下2点を実施する。 ①前期全員面談(継続実施) ②4月に進路調書を配布 ③進路調書を基に全員面談を実施(2023年度実施率82.6%) ④就職活動状況アンケート(新規実施) ⑤学生状況の把握および活動促進のための定期的なアンケート調査を実施 [4年生] ①説明会・求人紹介の実施(継続実施) ②Weekly学内説明会および就職支援会社や新卒応援ハローワークによる求人紹介セミナーの実施(2023年度41社実施) ③就職活動状況アンケート(新規実施) ④学生状況の把握および活動促進のための定期的なアンケート調査を実施 ⑤全員を対象として実施することで、学生状況の把握や活動実施を促す</p>	<p><経営学部> [3年生] ①前期全員面談実施状況 前期全員面談を実施し、実施率は88.4%(前年比+5.8%) ②就職活動状況アンケート 7月回答率 54.3%(全学部) 9月回答率 49.3%(全学部) 学生の活動状況を把握することができているため、今後の支援に役立てていく。 [4年生] ①Weekly学内説明会・求人紹介セミナー 学内説明会19社開催26名参加 ②就職支援会社・ハローワークガイダンス 4/13開催ジェイック 13名 6/28開催ベネッセキャリア 8名 7/25開催ハローワーク 5名 →合計26名参加 ③就職活動状況アンケート 6月回答率 41.3%(全学部) 9月回答率 26.8%(全学部) 6月回答者は9月に回答していないことも多いが、学生状況を捉えるためのツールとなっている。</p>	<p><経営学部> 年度途中であるため最終的な評価はできないが、2025年2月15日時点で就職内定率、実就職率共に概ね前年同期と向水準で推移している。次年度もPLANとし、継続的に取り組むこととした。</p> <p>10月1日内定率 =65.6% (昨年同時期 65.6%) 実就職率 =62.6% (昨年同時期 62.4%)</p>
<p><人間学部> ■就職内定率率的向上 93%以上(前年度実績89.8%) ■実就職率改善 93%以上(前年度実績83.7%)</p>	<p><人間学部> ①引き続きオンラインと対面を併用した効果的な支援を実施。教職協働しながら、個別面談、各イベント、授業でのイベント告知などを積極的におこない、学生のキャリア意識の向上を図る。 ②5月福祉ジョブフェアの開催。</p>	<p><人間学部> ①昨年度比で一般企業就職の内定進捗がやや遅い。 ②専門就職については例年並みに進捗している。</p> <p>10月1日 学部内定率38.8% 福祉77.6.9% 福祉SW 32.9% 児童9.8% 心理55.9% 学部実就職率 36.9%</p>	<p><人間学部> 2月末現在では、前年度よりも内定率の進捗が早かった。豊富なキャリアイベントがある一方、学生の参加が例年の水準と比べて低いため、採用スケジュールの早期化に対応すべく、ニーズのあるイベントへの選択と集中、イベントの日程の前倒しなどを改善点とする。</p>
<p><保健医療技術学部> ■就職内定率 100% ■実就職率改善 98%以上 ①早期に看護学科、臨床検査学科にて就職ガイダンスを実施 【有期】 6月 就活ガイダンスオンライン配信(3年生) 7月 保健師座談会(2,3年生) 【臨床】 6月 OBOGキャリア相談会(4年生) 7月 面接対策講座(4年生) 8月 キャリアガイダンス(3年生) 【理学・作業】 4月 理学療法学科 就職ガイダンス 8月 作業療法学科 就職ガイダンス 8月 PTOT合同オンライン就職説明会 各学科における就職先探し個別支援 国家合格率の向上・全国模試を実施</p>	<p><保健医療技術学部> 対面による就職説明会を開催した。学生と求人サイトとの対面による質疑応答の機会を提供し、学生と求人サイトを直接つなぐ機会を提供するとともに教員・職員によるサポートによりより成長できる就職先探しをサポートすると学生の満足度の高い就職を支援する。</p> <p>PTOT合同就職説明会参加施設数 250施設</p>	<p><保健医療技術学部> 8月8日にPTOT学内合同就職説明会を対面で開催。250の医療機関・施設にご参加いただき、学生とフル・フルで参加し、関心のある施設の説明を聴講・質疑応答も活発に行われました。その後の会話において、この合説を起点として就活を進め、内定を獲得した学生も多く、みずからある機会と場となるだけでなく、学生の満足度(仕事・内定)も高いものとなりました。また、看護・臨床において、3年生の早い時期からガイダンスやOBOG就職説明会などを実施して、将来の就職・職務のイメージを醸成して、モチベーションアップを図っています。</p> <p>PTOT合同就職説明会参加 250施設</p>	<p><保健医療技術学部> 改革総合支援事業の一環として、卒業生の就職先、本学の学生や教育などに求めるものをヒヤリングし、その回答を学部進路支援委員会にて協議を行い、次年度以降への学生指導・支援に反映させていくこと、また、例年晩秋に実施している卒業3年経過の卒業生ならびに就職先アンケートも、それらの結果を分析して、同様次年度以降への学生指導・支援に反映させていくこととします。それらのことにより、学生と就職先とのマッチング度合いをさらに向上させ、短期に確実な満足度の高い就活と実績づくりに貢献・反映させていきたいと考えています。</p>
<p><外国語学部> ■就職内定率率的向上 ■保護者への訴求効果のある企業内定獲得向上 ①学生へのチャレンジ促し ②難関企業内定獲得 ③継続支援</p>	<p><外国語学部> [3年生] 就職活動のさらなる早期化に対応して、3年前期本格的な就活準備に入れるよう以下2点を実施する。 ①3年次12月学内説明会実施(新規実施) ②「前年2月開催「ジョブフェア」」を一部前倒して12月に実施することで早期選考へ活動を促す。 ③「来訪企業は「プライム上場企業」・上場関連会社を中心として関係構築および学生の企業見学点を増やす ④「来訪企業は「プライム上場企業」・上場関連会社を中心として、企業との関係構築および学生の企業見学点を増やす ⑤「来訪企業は「プライム上場企業」・上場関連会社を中心として、企業との関係構築および学生の企業見学点を増やす 3年生前から企業見学点を創出することで夏インターや早期選考に繋げる。 来訪企業は「プライム上場企業」・上場関連会社を中心として、企業との関係構築および学生の企業見学点を増やす [4年生] ①説明会・求人紹介の実施(継続実施) ②Weekly学内説明会および就職支援会社や新卒応援ハローワークによる求人紹介セミナーの実施(2023年度41社実施)</p>	<p><外国語学部> [3年生] ①3年次12月学内説明会実施(新規実施) 開催に向けて準備中 ②「来訪企業は「プライム上場企業」・上場関連会社を中心として、企業との関係構築および学生の企業見学点を増やす 1日3社×6回 合計18社が来訪 合計27名の学生が参加(全学部合計52名) [4年生] ①Weekly学内説明会・求人紹介セミナー 学内説明会19社開催26名参加 ②就職支援会社・ハローワークガイダンス 4/13開催ジェイック 13名 6/28開催ベネッセキャリア 8名 7/25開催ハローワーク 5名 →合計26名参加(全学部合計)</p>	<p><外国語学部> 年度途中であるため最終的な評価はできないが、2025年2月28日時点で前年同期対比で上場・上場関連内定率は2.7ポイント増、製造業・卸業(商社)内定率は1.3ポイント増、営業・総合職内定率9.7ポイント増で推移している。次年度もPLANとし、個別面談を通して継続的に取り組む。</p>

⑯2025年度キャリア戦略

PLAN(計画)
P:目標を策定、実現するための具体的な方法を考える。
<p>■就職内定率率的向上 98%以上 ■実就職率改善 92%以上</p>
<p>■就職内定率質的向上 ・上場企業・関連企業50%以上</p>
<p>■就職内定率率的向上 ・10月1日就職内定率80%以上(一般)</p>
<p>■キャリア支援の質的向上 I 【企業等との連携強化】 ・業界研究、会社研究の学内イベント拡充と動員率向上 ・国内・海外インターンシップ先新規開拓と参加率向上 ・3年生向け学内企業説明会イベントの動員率向上 ■キャリア支援の質的向上 II 【卒業生との連携強化】 ・OBOG就職相談会の実施 ・卒業生間ネットワークの構築 ・卒業生向け大学教員によるリスクリング講座の開催</p>

<p><経営学部> ■就職内定率質的向上 就職内定率80%以上 選企業50%以上 会議目標数値</p> <p>観客 ①上場企業・関連企業 (キャリア戦略)</p>	<p>(経営学部) [3年生] 就職活動のさらなる早期化に対応して、3年前期本格的な就職準備に入れるよう以下2点を実施する。 ①3年次12月学内説明会実施(新規実施) ②前年2月開催「ジョブフェア」を一部前倒して12月に実施することで早期選考へ活動を促進する お越し頂く企業は「プライム上場企業」もしくは上場関連会社を中心として、企業との関係構築および学生の企業接点を増やす ③ジョウカズマスター講座(業界理解編)(新規実施) 3年前期から企業接点を創出することで夏インターンや早期選考に繋げる お越し頂く企業は「プライム上場企業」もしくは上場関連会社を中心として、企業との関係構築および学生の企業接点を増やす [4年生] ①説明会・求人紹介の実施(継続実施) ②Weekly学内説明会および就職支援会社や新卒応援ハローワークによる求人紹介セミナーの実施(2023年度41社実施)</p>	<p>(経営学部) [3年生] ①3年次12月学内説明会実施(新規実施) 開催に向けて準備中 ②ジョウカズマスター講座(業界理解編)(新規実施) 1日3社×6回 合計18社が来訪 合計23名の学生が参加(全学部合計52名) [4年生] ①Weekly学内説明会・求人紹介セミナー 学内説明会19社開催26名参加 ・就職支援会社・ハローワークガイダンス 4/13開催ジェティック 13名 6/28開催ベネッセキャリア 8名 7/25開催ハローワーク 5名 →合計26名参加(全学部合計)</p>	<p><経営学部> 年度途中であるため最終的な評価はできないが、2025年2月15日時点で 前年同期対比で上場・上場関連内定率は12.7ポイント増で推移している。 次年度もPLANとし、継続的に取り組むこととした。</p>
<p><人間学部> ■就職内定率質的向上 上場企業・関連企業35%以上 (学部キャリア委員会目標)</p>	<p><人間学部> ①3年次12月学内説明会実施(新規実施) 前年2月開催「ジョブフェア」を一部前倒して12月に実施することで早期選考へ活動を促す ②ジョウカズマスター講座(業界理解編)(新規実施) ・来訪企業は「プライム上場企業」・上場関連会社を中心として関係構築および学生の企業接点を増やす。</p>	<p><人間学部> ・昨年度比同水準だが、学部別ではコミ社の23.8%に対して心理は32.7%と学部目標近くまで達成している。 ①12月学内説明会は現在準備中 ②ジョウカズマスター講座(業界理解編) →1日3社×6回 合計18社が来訪 →合計26名参加(全学部合計)</p>	<p><人間学部> 2月末現在で上場企業・関連企業の目標値にほぼ届いている。学部ではコミ社の数値が相対的に低いため、来年度の支援強化が求められる。</p>
<p><保健医療技術学部> 医療機関のため該当なし</p>	<p><保健医療技術学部> 「より成長できる就職先探しをサポートする」ことで学生の満足度の高い就職を支援する とともに就職率 100%の達成を目指す。</p>	<p><保健医療技術学部> N/A</p>	<p><保健医療技術学部> N/A</p>
<p><外国語学部> ■就職内定率時期的向上 10月1日就職内定率80%以上 <継続課題></p>	<p><外国語学部> [3年生] ①3年次12月学内説明会実施(新規実施) 開催に向けて準備中 ②ジョウカズマスター講座(業界理解編)(新規実施) 1日3社×6回 合計18社が来訪 合計27名の学生が参加(全学部合計52名) [4年生] ①Weekly学内説明会・求人紹介セミナー ・学内説明会19社開催26名参加 ・就職支援会社・ハローワークガイダンス 4/13開催ジェティック 13名 6/28開催ベネッセキャリア 8名 7/25開催ハローワーク 5名 →合計26名参加(全学部合計)</p>	<p>-Weekly オンライン 学内企業説明会を3月 から実施 し、内定者 も出てい る。ゼミ担当 職員が個別 面談を実施 している。</p>	<p><外国語学部> [3年生] ①前期全員面談実施状況 前期全員面談を実施し、実施率は89.5%(前年比+8.5%) ②就職活動状況アンケート 7月回答率 54.3%(全学部) 9月回答率 49.3%(全学部) 学生の活動状況を把握することができているため、今後の支援に役立ていく ③学内説明会時期の前倒し ・12月学内説明会は現在準備中 ・ジョウカズマスター講座(業界理解編) →1日3社×6回 合計18社が来訪 合計27名の学生が参加(全学部合計52名) [4年生] ①Weekly学内説明会・求人紹介セミナー ・学内説明会19社開催26名参加 ・就職支援会社・ハローワークガイダンス 4/13開催ジェティック 13名 6/28開催ベネッセキャリア 8名 7/25開催ハローワーク 5名 →合計26名参加</p>
<p><経営学部> ■一般企業就職希望者就職内定率時期的向上 10月1日内定率80%以上 (前年実績63.7%)</p>	<p>(経営学部) [3年生] 就職活動のさらなる早期化に対応して、3年前期本格的な就職準備に入れるよう以下2点を 実施する。 ①前期全員面談(継続実施) ・4月に進路調査を配布 ・進路調査を基に全員面談を実施 (2023年度実施率2.6%) ②就職活動状況アンケート(新規実施) ・学生状況の把握および活動促進のため定期的なアンケート調査を実施 ③学内説明会時期の前倒し ・学生および企業の活動時期に合わせ、学生と企業の接点機会を早期から創出。そのこと で業界理解および早期選考への積極的なチャレンジを促す ・ジョウカズマスター講座(業界理解編)を6月より新規開催。学内説明会を12月に新規開 催。一か、ジョブフェア(2月開催)やWeekly学内説明会招聘企業数を調べる。 [4年生]①説明会・求人紹介の実施(継続実施)Weekly学内説明会および就職支援 会社や新卒応援ハローワークによる求人紹介セミナーの実施(前年度41社実施) ②就職活動状況アンケート(新規実施) ・学生状況の把握および活動促進のため定期的なアンケート調査を実施</p>	<p>-Weekly オンライン 学内企業説明会を3月 から実施 し、内定者 も出てい る。ゼミ担当 職員が個別 面談を実施 している。</p>	<p><経営学部> [3年生] ①前期全員面談実施状況 前期全員面談を実施し、実施率は88.4%(前年比+5.8%) ②就職活動状況アンケート 7月回答率 54.3%(全学部) 9月回答率 49.3%(全学部) 学生の活動状況を把握することができているため今後の支援に役立てる。 ③学内説明会時期の前倒し ・12月学内説明会は現在準備中 ・ジョウカズマスター講座(業界理解編)→1日3社×6回 合計18社来訪 合計23名の学生が参加(全学部合計52名) [4年生]①Weekly学内説明会・求人紹介セミナー ・学内説明会19社開催26名参加 ・就職支援会社・ハローワークガイダンス 4/13開催ジェティック 13名 6/28開催ベネッセキャリア 8名 7/25開催ハローワーク 5名 →合計26名参加 ②就職活動状況アンケート 6月回答率 41.3%(全学部) 9月回答率 26.8%(全学部) 6月回答者は9月に回答していないことも多いが学生状況を捉えるツールとなっている。</p>
<p><人間学部> ■一般企業就職希望者 就職内定率時期的向上 10月1日時点での内定率60%以上 (前年実績65.9%) ※専門職除く</p>	<p><人間学部> ①3年次12月学内説明会実施(新規実施) 前年2月開催「ジョブフェア」を一部前倒して12月に実施することで早期選考へ活動を促す ②ジョウカズマスター講座(業界理解編)</p>	<p><人間学部> 上記と同様。ただし、キャリアセンターへ内定報告をしない学生が多くなる可能性があるため、報告の呼びかけを実施する。 ①12月学内説明会は現在準備中 ②ジョウカズマスター講座(業界理解編) →1日3社×6回 合計18社が来訪</p>	<p><人間学部> 上述のように、昨年度よりも向上した。これは、学生が活発に就職活動した結果であると同時に、企業の採用活動の早期化も要因であると考えられる。 資料別にみると、一般企業就職としては心理の進捗がやや遅いため、来年度の支援強化が求められる。 Pに※専門職除くとあるが、実際はC欄に10月1日時点の福祉SW(福祉・精神・介護の3資格)と児童(小学校教諭・幼稚園教諭・保育士の3資格)の概 合し内定率を算出している。ふしむきキャリアセンターの毎月の就職内定 状況表には欄外に各資格取得状況を一覧にて報告しており、両情報からわ かるように実質的には継続して支援している。 また、教職課程センターとの連携については、毎年就職志望者リストや最終 的な就職先(学校)、正規の臨時採用の情報等を共有し連携している。で次 年度以降もこれを継続する。</p>
<p><保健医療技術学部> ■医療機関就職希望者 就職内定率時期的向上 10月1日内定率60%以上 (前年実績68.4%) ※看護学科は100% ※他3学科は就職活動時期</p>	<p><保健医療技術学部> 看護学科、4月から就職試験が始まるので前年度の3月に就職ガイダンスを来ない就職指 導を進めていく。 臨床検査学科 夏休み前に就職ガイ ダンスを行い、就職指導を進める。 理 PTOT合同就職説明会を行い、その後、就職ガイダンス、 学部全体で就職率100%を目標とする。</p>	<p><保健医療技術学部> 10月末現在 学部内定率 = 74.5 % 同業就職率 = 73.2 % ・理学療法学科 = 80.3 % ・作業療法学科 = 70.8 % ・臨床検査学科 = 35.8 % ・看護学科 = 96.0 % 看護は96%まで達成。理学・作業については、現在、就活の最終段階を迎えており、来月にはその収束期を迎える。PTは今年から実習のカリキュラムが変わり、就活時期が遅くなる要因がある。臨床は臨床終了後に再開予定。</p>	<p>10月1日 学部内定率38.8% 福祉は76.9% 福祉SW 32.9% 児童9.8% 心理5.9% 学部実就職率 36.9%</p> <p>同左</p> <p><保健医療技術学部> ・看護の求人は他職種とは異なり、春先の3月から選考試験が始まることから、早期の就活に沿って、3年生からガイダンスを実施。 ・理学作業は、前期は病院実習で就活は叶わないため実習帰りの8月のPTOT合設を皮切りに就活を開始し、11月までを目途に90%超の内定を獲得する日程で、今後も取り組んでいく。 ・臨床は、前回の卒研修終了後に就活を開始。応募書類の提出期限も定められているので次年度以降は、もう少し早目の取り組みを促していきたい。</p>

<p><外国語学部> ■キャリア支援の質的向上 I キャリアセンター支援施策 就業環境変化への対応 <就職課題></p>	<p><外国語学部> [3年生]①就職活動早期化への対応 ・校内企業説明会(業界セミナー)早期実施 ・4月より「全員面談」の実施 ・「早期選考/インターンシップ選考」を意識したガイダンス・講座日程の組み立て→「シュウカツマスター講座(自己理解編)」を2023年度に引き続き3年前期に実施 ②早期化・長期化に伴う段階別支援 ・後期以降は夏季休暇中の動き方により、「早期選考チャレンジ」学生と「後期からの巻き返し」が必要な学生に分類される ・後期以降は学生の状況を自覚させ、早急な支援が必要な学生を明確にし「後期全員面談」実施する。 ③就職支援面談会実施 [4年生]①ハローワークガイダンスの6月対面開催実施と、就職エージェントからの企業特別求人公開支援を早期5月に実施する。 ②「1・2年生」[04月および9月]に「キャリアガイダンス」を開催。「自己成長記録書」を配布、全員提出とする。低学年時からのキャリア意識醸成を促す。 ②「キャリアサブゼミ」を11月より実施し、3年生開始時にスムーズな就職活動が出来るように支援する</p>	<p><外国語学部> [3年生] ①就職活動早期化への対応 ・「シュウカツマスター講座(自己理解編)」を前年度に引き続き3年前期に実施 ②早期化・長期化に伴う段階別支援 ・後期以降は学生の状況を自覚させ、早急な支援が必要な学生を明確にするため「後期全員面談」の実施を行う。(10・11月開催) ③「卒業後支援事業」採択「学修成果について産業界との協議」について ④卒業後アンケート調査後、結果分析及び教育成果の検証→全学教務委員会に報告書を提出 [4年生] ①「ハローワークガイダンス」の6月対面開催実施と、就職エージェントからの企業特別求人公開支援を早期5月に実施する。 ②「1・2年生」[04月および9月]に「キャリアガイダンス」を開催。その際「自己成長記録書」を配布し、全員提出を義務付ける。低学年時からのキャリア意識醸成を促す。 ②「キャリアサブゼミ」を11月より実施し3年生開始時の円滑な就活を支援。</p>	<p><外国語学部> 採用の早期化に対応すべくキャリア支援施策実施を前倒しした。 次年度も施策を前期に前倒しさせ、採用動向の早期化に対応する。 引き続きPLANとして「積極的」に取り組む。</p>
<p><経営学部> ■キャリア支援の質的向上 I キャリアセンター支援施策 就業環境変化への対応</p> <p>①目的:「改革総合支援事業」採択 目標:「学修成果について産業界との協議」実施 手段:「本学に特化した企業、関係機関・団体へのヒアリング」実施 内容: I 企業等が学生に求める能力 II 採用時にどのような情報を必要としているか 期限:前期中</p> <p>②目的:同上 目標:「卒業後のアンケート調査後、結果分析及び教育成果の検証」 期限:前期中</p>	<p><経営学部> [3年生]①就職活動早期化への対応 ・校内企業説明会(業界セミナー)早期実施 ・4月より「全員面談」の実施 ・「早期選考/インターンシップ選考」を意識したガイダンス・講座日程の組み立て→「シュウカツマスター講座(自己理解編)」を前年度に引き続き3年前期に実施 ②早期化・長期化に伴う段階別支援 ・後期以降は夏季休暇中の動き方により、「早期選考チャレンジ」学生と「後期からの巻き返し」が必要な学生に分類される ③「改革総合支援事業」採択「学修成果について産業界との協議」について ④卒業後アンケート調査後、結果分析及び教育成果の検証→全学教務委員会に報告書を提出 [4年生]①ハローワークガイダンスの6月対面開催実施と、就職エージェントからの企業特別求人公開支援を早期5月に実施する。 ②「1・2年生」[04月および9月]に「キャリアガイダンス」を開催。その際「自己成長記録書」を配布し、全員提出を義務付ける。低学年時からのキャリア意識醸成を促す。 ②「キャリアサブゼミ」を11月より実施し3年生開始時の円滑な就活を支援。</p>	<p><経営学部> [3年生]①就職活動早期化への対応 ・「シュウカツマスター講座(自己理解編)」を前年度に引き続き3年前期に実施 ②早期化・長期化に伴う段階別支援 ・後期以降は学生の状況を自覚させ、早急な支援が必要な学生を明確にするため「後期全員面談」の実施を行う。(10・11月開催) ③「卒業後支援事業」採択「学修成果について産業界との協議」について ④卒業後アンケート調査後、結果分析及び教育成果の検証→全学教務委員会に報告書を提出 [4年生]①「ハローワークガイダンス」の6月対面開催実施と、就職エージェントからの企業特別求人公開支援を早期5月に実施する。 ②「1・2年生」[04月および9月]に「キャリアガイダンス」を開催。その際「自己成長記録書」を配布し、全員提出を義務付ける。低学年時からのキャリア意識醸成を促す。 ②「キャリアサブゼミ」を11月より実施し3年生開始時の円滑な就活を支援。</p>	<p><経営学部> 採用の早期化に対応すべくキャリア支援施策実施を前倒しした。 今後も採用動向を踏まえ、各施策内容の改善、実施時期の見直しに取り組む。</p>
<p><人間学部> ・3年生向けイベントの動員向上 ・低学年の段階からキャリア意識を向上させる施策の検討(特にキャンパス移行のあるコミ社・福祉マネ) ・POCアートの個人データは、個人情報保護の観点から共有不可とのことであるため、集計データや他データの活用を検討する。</p>	<p><人間学部> ・「コミ社」[初年次教育演習]にて卒業生によるキャリア講演を3回実施予定。 ・「心理」11月下旬に卒業生の体験談を昼休みに開催予定。 ・「福祉・児童」12月に3年生を対象に就職ガイダンスを開催予定。 ②「POCアートの個人データは、個人情報保護の観点から共有不可とのことであるため、集計データや他データの活用を検討する。 [3年生]①就職活動早期化への対応 ・校内企業説明会(業界セミナー)早期実施 ・4月より「全員面談」の実施 ・「早期選考/インターンシップ選考」を意識したガイダンス・講座日程の組み立て→「シュウカツマスター講座(自己理解編)」を2023年度に引き続き3年前期に実施 ②早期化・長期化に伴う段階別支援 ・後期以降は夏季休暇中の動き方により、「早期選考チャレンジ」学生と「後期からの巻き返し」が必要な学生に分類される ・後期以降は学生の状況を自覚させ、早急な支援が必要な学生を明確にし「後期全員面談」実施する。</p>	<p><人間学部> [3年生] ①就職活動早期化への対応中 ・「シュウカツマスター講座(自己理解編)」を前年度に引き続き3年前期に実施 ②早期化・長期化に伴う段階別支援 ・後期以降は学生の状況を自覚させ、早急な支援が必要な学生を明確にするため「後期全員面談」の実施を行う。(10・11月開催)</p>	<p><人間学部> ・「3年生のイベント動員向上」Teamsでのイベント告知に対する学生の反応が芳しくない傾向にあるため、授業を利用した対面告知を強化する。 ・「低学年のキャリア意識向上」2年生向けの取り組みがないため、ふじ野野学専員と連携して「対人コミュニケーション演習」で産学連携授業を実施済み。</p>
<p><保健医療技術学部> ■改革総合支援事業「採択」 目標:「学修成果について産業界との協議」 実施手段:「本学に特化した企業・関係機関へのヒアリング」実施 内容: I 病院等が学生に求める能力 II 採用時にどのような情報を必要としているか 期限:前期中にヒアリング 検証:「卒業後のアンケート調査後、結果分析及び教育成果の検証」 期限:前期中に連絡支援委員会にて検証</p>	<p><保健医療技術学部> 卒業生の調査・検証結果から教職員間で連携し、学生への指導・サポートに活かしていくこととする。 6月の臨席のOBOG就職相談会以降は7,8月に開催</p>	<p><保健医療技術学部> 改革総合支援事業の一環として、卒業生の就職先に、本学の学生や教育などに求めるものをヒアリングし、その回答を学部連絡支援委員会にて協議を行ない、次年度以降への学生指導・支援に反映させていくこととします。 また、例年晩秋に実施している卒業3年経過の卒業生ならびに就職先アンケートも実施しており、それらの結果を分析して、同様に次年度以降への学生指導・支援に反映させていくこととします。</p>	<p><保健医療技術学部> 同左の結果を踏まえて、第四半期において次年度へのActionを策定することとします。</p>
<p><外国語学部> ■就職活動早期化に伴う支援施策 1.3年次1月時点での内定率19.9%以上 →上記記載のように就職活動早期化に対して対応を実施 2.2年生参加0名(1年生参加者2名)</p>	<p><外国語学部> 1.3年次1月時点での内定率19.9%以上 →上記記載のように就職活動早期化に対して対応を実施 2.2年生参加0名(1年生参加者2名)</p>	<p><外国語学部> 2. ガイダンスなど告知方法を見直すことで来期以降の参加社を増やすように取り組む</p>	<p><外国語学部> 1.3年次1月時点での内定率10.3% ※アンケート回答者のみの数値 2.2年生参加0名(1年生参加者2名) 上記1.2とも目標未達成であるので、今後も継続して取り組む。</p>
<p><経営学部> ■2024年度は、新カリキュラムが全面的に動き出すことになる。具体的な授業内容についてPDCAサイクルを実践的に回していく。</p>	<p><経営学部> 教職相談の元(キャリア科担当教員と教務グループ職員、キャリアセンター職員が情報交換を持った)、PDCAサイクルを回している。</p>	<p><経営学部> 現時点で特に問題点は指摘されていない。</p>	<p><経営学部> 現時点で特に問題点は指摘されていない。</p>
<p><経営学部> 1.3年次1月時点での内定率19.9%以上 2.2年生参加5名(1年生参加者1名)</p>	<p><経営学部> 1.3年次1月時点での内定率19.9%以上 →上記記載のように就職活動早期化に対して対応を実施 2.→2年生参加5名(1年生参加者1名)</p>	<p><経営学部> 1.3年次1月時点での内定率19.9%以上 →上記記載のように就職活動早期化に対して対応を実施 2. ガイダンスなど告知方法を見直すことで来期以降の参加社を増やすように取り組む</p>	<p><経営学部> 1.3年次1月時点での内定率20.0%(1月アンケートの回答者ベース) 2.2年生参加5名(1年生参加者1名) 上記1.2とも目標未達成であるので、今後も継続して取り組む。</p>